

平成26年度事業報告書

I 会務報告

1. 会員の状況について

	正会員	準会員	計
今期末会員数	2,902名	0名	2,902名
前年度末会員数	2,908名	0名	2,908名
増減	-6名	0名	-6名

支部別会員数は添付諸表資料1のとおり

2. 賛助会員について

1) 団体など

北海道農業共済組合連合会
北海道農業協同組合中央会
ホクレン農業協同組合連合会
(一社)ジェネティクス北海道

2) 個人

なし

3. 名誉会員の推薦について

平成27年3月18日、第6回理事会において、各支部長からの推薦のあった下記の17名の会員（平成27年度に78歳となり、本会在籍20年以上の会員）を名誉会員とすることとし、27年度の地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

佐々木忠幸（石狩）、山田 信美（石狩）、湯浅 亮（石狩）、有我 克也（石狩）、
今田 恒夫（道南）、下條 博信（道南）、岡野 勝（道南）、箕輪 光（胆振）、
池下 圭三（十勝）、野崎 英男（十勝）、川上 雅靖（十勝）、佐藤 一男（釧路）、
佐藤 彰（根室）、佐生 明（根室）、竹田津 実（オホーツク）、
加藤 孝義（オホーツク）、堀 次郎（オホーツク）

4. 役職員の異動について

1) 役員等

異動なし

2) 職員

平成27年3月 濱名 張彦（事務局長）退職

5. 日本獣医師会特別委員会、職域別部会委員会委員（本会分）

狂犬病予防体制整備特別委員会 会長 高橋 徹、 荻和宏明（北大）

女性獣医師支援特別委員会	監事	嶋田直子 荒井 桂 (NOSAI オホーツク)
学術・教育・研究委員会	理事	宮原和郎、 中尾敏彦 (元山口大)
学術振興検討小委員会	理事	宮原和郎、 中尾敏彦 (")
獣医学教育の整備・充実検討小委員会		谷山弘行 (酪農大)
産業動物臨床・家畜共済委員会	理事	岡本真平
小動物臨床委員会	理事	前谷茂樹
家畜衛生委員会	理事	三田清成
公衆衛生委員会	理事	宮上禎肇
動物福祉・適正管理対策委員会		向井 猛 (札幌市動物管理センター)
総務委員会	専務理事	森 清一
獣医師職業倫理向上委員会	専務理事	森 清一
野生動物対策検討委員会		武田忠義 (北海道)、 福井大祐 (En Vision)
野生動物救護対策の在り方検討小委員会		黒澤信道 (NOSAI 道東)

6. 代議員会・理事会の開催について

1) 平成 26 年度 (第 2 回) 定時代議員会

日 時：平成 26 年 6 月 11 日 (水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

- 議案第 1 号 平成 25 年度事業報告書および財務諸表について
- 議案第 2 号 平成 26 年度事業計画および収支予算について
- 議案第 3 号 平成 26 年度会費などの賦課額について
- 議案第 4 号 平成 26 年度役員報酬について
- 議案第 5 号 北獣役員報酬等に関する規程の制定について
- 議案第 6 号 北獣福利厚生規程の改定について
- 議案第 7 号 平成 26 年度借入金の最高限度額について
- 議案第 8 号 我が国の獣医学教育の改善・充実に関する決議について

2) 理事会

【第 1 回】

日 時：平成 26 年 5 月 21 日 (水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

< 報告事項 >

1. 北獣関係諸会議
2. 日獣関係諸会議
3. その他諸会議

4. 北獣会館事務所の賃貸契約の変更について
5. 北獣各部会委員等の変更について
6. 傷病鳥獣等保護受託業務について
7. 管理システム構築、ホームページリニューアルの進捗状況について

<議決事項>

1. 平成 25 年度事業報告書および財務諸表の承認について
2. 平成 25 年度決算監査の結果について
3. 平成 26 年度会費などの賦課額について
4. 平成 26 年度役員報酬について
5. 平成 26 年度借入金の最高限度額について
6. 我が国の獣医学教育の改善・充実に関する決議について
7. 北獣役員報酬規程、役員退任慰労金贈呈規程の廃止について

<協議事項>

1. 平成 26 年度（第 2 回）定時代議員会の開催について
2. 北海道獣医師大会、北海道地区三学会の開催について
3. その他

【第 2 回】

日 時：平成 26 年 6 月 11 日(水)

会 場：ホテルヤマチ

議 事

<報告事項>

1. 5 月末職務執行状況報告について
2. 地区獣医師会総会の開催概要について
3. 日獣関係諸会議
4. 狂犬病予防注射事業に係る事故の発生状況について

<協議事項>

1. 平成 26 年度(第 2 回)定時代議員会の開催について
2. 講習会の講師に対する旅費支給について
3. 当面の事業推進について
4. 今後の予定

【第 3 回】（書面議決）

議 事

<議決事項>

平成 26 年度事業計画の変更について

【第 4 回】

日 時：平成 26 年 9 月 10 日(水)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 北獣諸会議開催状況
2. 地区獣医師会総会の開催概要について
3. 日本獣医師会関係他
4. 世界牛病学会 2018 の札幌開催について

<議決協議事項>

1. 平成 26 年度役員報酬について
2. 北海道獣医師大会提案事項について

<協議事項>

1. 公益法人変更認定申請について
2. 支部主管講習会の運営について
3. 狂犬病予防注射事故対策要領の一部修正について
4. 平成 25 年度支部事務局委託費の不足について
5. 地区獣医師会事務担当者の学会参加旅費について
6. 次期地区学会長の選任について
7. その他

【第 5 回】

日 時：平成 27 年 2 月 4 日(木)

会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 12 月末職務執行状況について
2. 中間監査の結果について
3. 北獣諸会議等開催状況
4. 日本獣医師会関係他
5. 北獣管理システムの進捗について
6. ホームページのリニューアルについて
7. その他

<議決協議事項>

1. 各種規程等の改定について
2. 平成 27 年度地区学会、大会の開催日程及び会場の変更について
3. 北獣職員給与規程別表の改定について

<協議事項>

1. 平成 27 年度北獣代議員会の日程について
2. 公益法人認定法に基づく立入り検査の概要について
3. 天売島における海鳥保護対策への協力について
4. 地区学会運営の改善について
5. 平成 27 年版会員名簿の発行について

6. 次年度分狂犬病ワクチンの供給について
7. その他

【第6回】

日 時：平成 27 年 3 月 18 日 (水)

会 場：会 場：北海道獣医師会館 会議室

議 事

<報告事項>

1. 2 月末職務執行状況報告
2. 日獣関係諸会議

<議決事項>

1. 公益社団法人北海道獣医師会平成 27 年度定時代議員の開催について
2. 平成 27 年度事業計画(案)について
3. 平成 27 年度収支予算(案)について
4. 北獣役員候補者推薦管理委員会の設置と役員選任の日程について
5. 平成 27 年度北獣名誉会員の推薦について

<協議事項>

1. 狂犬病予防注射事業の推進について
2. 北獣大会・学会の開催計画について
3. 事務局長の退職と今後の事務局体制について
4. 有珠噴火の備えた犬のマイクロチップ装着促進事業について
5. 名簿・狂注管理システムの運用について
6. その他

3) 監 査

平成 25 年度決算監査	平成 26 年 5 月 14 日 (水)	北海道獣医師会館	会議室
平成 26 年度中間監査	平成 26 年 11 月 12 日 (水)	〃	〃

4) 三役会議

第 1 回	平成 26 年 5 月 13 日 (火)	北海道獣医師会館	会議室
第 2 回	平成 26 年 8 月 22 日 (金)	〃	〃
第 3 回	平成 26 年 12 月 9 日 (火)	〃	〃
第 4 回	平成 27 年 3 月 4 日 (水)	〃	〃

5) 三役協議

第 1 回	平成 26 年 11 月 20 日 (金)	〃
第 2 回	平成 27 年 2 月 5 日 (月)	〃
第 3 回	平成 27 年 2 月 10 日 (月)	

6) 事務局長会議等

事務担当者会議	平成 26 年 8 月 7 日 (木)	北海道獣医師会館
役員・事務局長合同会議	平成 26 年 9 月 10 日 (水)	〃
事務局長会議	平成 27 年 3 月 11 日 (水)	〃

7) 各部会、委員会等

小動物臨床部会	平成 26 年 8 月 21 日 (木)	北海道獣医師会館
第 1 回産業動物臨床部会	平成 26 年 7 月 4 日 (水)	〃
第 2 回産業動物臨床部会	平成 27 年 3 月 26 日 (木)	〃
野生動物部会	平成 26 年 10 月 6 日 (月)	〃
行政部会	平成 26 年 4 月 24 日 (木)	〃
国際交流部会	平成 26 年 8 月 12 日 (火)	〃
北獣会誌編集委員会	平成 26 年 5 月 28 日 (水)	〃
飼養動物 (小動物) 獣医事対策委員会	平成 26 年 11 月 5 日 (水)	〃
第 2 回北獣会館建設計画検討特別委員会	平成 26 年 10 月 15 日 (水)	〃

8) 学会関係

地区学会幹事会議 平成 26 年 7 月 3 日 (木) 北海道獣医師会館

7. 公益社団法人移行後の組織運営

1) 事業変更認定申請について

犬の登録および鑑札交付に係る事業は、狂注済票交付に係る道 (市町村会委任) との委任契約には含まれておらず、また地区によりその対応が異なることから、公益認定申請に際しては、このことを本会の事業としないこととしていた。

公益法人移行後、道との済票交付委託契約に参加していない政令市、中核市等 6 市との済票交付委託契約時に、登録・鑑札交付も併せて契約したいとの申し出を受け、犬の登録と鑑札交付もあわせて契約することとなり、実施の市は限られるが、犬の登録、鑑札交付も本会事業とすることとなった。

このことにより本会事業の変更認定申請の必要が生じ、その他事業の 2, 受託事業への追加として、7 月 15 日、北海道知事に公益法人の事業等変更認定申請をおこなった。これに際し、環境省、羽幌町等と協力して実施している天売島海鳥等保護対策事業もあわせて追加事業として申請を行った。

なお、この申請に際し、平成 26 年度事業計画においてこの事業実施について明記されていることが必要なことから第 3 回理事会 (書面議決) において、事業計画の修正を行った。10 月 7 日、事業の変更が認定された。

2) 公益法人認定法に基づく立ち入り検査について

平成 27 年 1 月 20 日 (火)、移行後最初の公益認定法に基づく北海道の立ち入り検査が実施された。①役員の選任に際しては、役員就任者から欠格事由が無いことを書面で確認をとること、②会員の入会に際しては、会長承認の確認を記録に残すこと、の 2 点が検査時に口頭で伝えられたが、文書等による指摘事項等は無く無事終了した。次回の検査は、2 年後の予定。

8. 各種規程、要領等の制定および改定について

第 2 回代議員会において 北獣役員報酬等に関する規程の制定
北獣福利厚生規程の改定

第5回理事会において 北獣経理処理規程の改定
北獣旅費規程の改定
北獣部会規程の改定
北獣狂犬病予防注射実施取扱要領の改定
北獣職員給与規程別表の改定

9. 弁護士との顧問契約について

平成25年4月から、札幌市内で法律事務所を開設している越前屋民雄弁護士と顧問契約を締結し、会員の法律的な課題について対応してきたところであるが、平成27年3月、不祥事により札幌弁護士会から業務停止5か月の懲戒処分を受けたので、顧問契約を解除することとした。

10. 広報活動

情報化社会に対応し、本会ホームページ等による広報活動の充実強化が求められていた。平成26年度ホームページの全面的なリニューアルを図り、会員への情報伝達の充実を図るとともに、一般市民を対象とした本会の活動紹介、動物病院の紹介等の充実強化を図った。

II 事業報告

公益目的事業1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

1) 獣医学術北海道地区学会の開催

①平成26年度獣医学術北海道地区学会は9月11、12日、北海道大学学術交流会館、百年記念館において開催された。会員および会員外649名、来賓・関係機関など97名、合計746名の参加を得、石狩支部等道央3支部、学会幹事を中心とした会員の協力により整齊と運営された。

②今年後の本学会は、9月9日～12日、同じく北海道大学で開催された第157回日本獣医学会学術集会との連携開催とし、一方で参加登録することで、両方の学会が参加が可能となり、多くの本会会員も獣医学会に参加されていた。

11日午後、日本獣医学会との共同開催により三学会共通として「参加型臨床実習について」と、小動物関連として「小動物腫瘍の治療について」とのテーマによる2つのシンポジウムを開催した。日本獣医学会学術集会へ参加された道外の諸先生方も大勢参加された。

③一般の発表演題は産業動物獣医学会93題、小動物獣医学会46題、獣医公衆衛生学会17題、合計156題となり充実した学会となった。

④両日の昼休みには、協賛会社の協力のもと6会場でランチョンセミナーを多彩な内容により実施した。

⑤今年度の各地区学会長賞、北獣会長賞、奨励賞については、学会終了後に開催された審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

【平成 26 年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

日本産業動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会長賞】

「十勝における過去 15 年間のヨーネ病防疫対策の検証と今後の展望について」

○藤吉 聡¹⁾ 菅野 宏¹⁾ 宮根和弘¹⁾ 八木 梓¹⁾ 榊原伸一¹⁾ 相内花子¹⁾ 磯田典和²⁾
(¹⁾ 十勝家保 ²⁾ 北大)

「黒毛和種のプログラム授精における CIDR 抜去時の主席卵胞サイズが受胎率に及ぼす影響とそれを考慮した受胎率向上新プログラムの考案」

○上野大作 (NOSAI 日高)

「競走馬の細菌性角膜炎に対するフェージセラピーの検討」

○岩野英知¹⁾ 冷清水雄太郎¹⁾ 古澤貴章¹⁾ 樋口豪紀²⁾ 永幡 肇²⁾
萩原克郎⁴⁾ 丹羽秀和³⁾ 片山芳也³⁾ 木下優太³⁾ 横田 博¹⁾ 田村 豊²⁾
(¹⁾ 酪農大生体機能 ²⁾ 酪農大衛生・環境 ³⁾ JRA 総研
⁴⁾ 酪農大感染・病理)

「サラブレッド種の不妊症例に対する選択的卵管通水法による治療的な試み」

○井上裕士 関口美那 (イノウエ・ホース・クリニック)

【北海道獣医師会会長賞】

「腸炎診療への手がかりとしての糞便ダイレクトスメア」

○広沢悠子 (NOSAI 日高)

「馬の慢性蹄葉炎に対する深指屈腱切断術」

○樋口 徹 井上 哲 佐藤正人 後藤忠広 七尾祐樹
(NOSAI 日高家畜診療センター)

【奨励賞】

「子牛中耳炎 270 例の臨床および疫学的解析」

○小堤晃博¹⁾ 川本 哲¹⁾ 樋口豪紀²⁾ 藤田浩輝³⁾ 谷 美穂⁴⁾ 武井美都子⁴⁾
木村和也⁵⁾ 甲斐貴憲⁶⁾ 山川翔平⁶⁾ 更科拓人⁷⁾ 小岩政照¹⁾
(¹⁾ 酪農大生産動物医療 ²⁾ 酪農大衛生・環境 ³⁾ NOSAI オホーツク
⁴⁾ 宗谷地区 NOSAI ⁵⁾ 根室地区 NOSAI ⁶⁾ 道南 NOSAI ⁷⁾ 十勝 NOSAI)

「牛白血病ウイルス遺伝子検出法の簡易化の検討」

○川原雄太 田島誉士 (酪農大生産動物医療)

日本小動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会長賞】

「家族性発症を認めた犬の肥満細胞腫症例における遺伝学的検討」

○富張瑞樹 石川雄大 宮本佳奈 谷川千里 三好雅史 宮原和郎 大石明広
(帯畜大動物医療センター)

「多分割照射法による根治的放射線治療に関する有害事象発生率と有効性の回顧的調査」

○武内 亮¹⁾ 細谷謙次²⁾ 星野有希¹⁾ 高木 哲¹⁾ 奥村正裕²⁾

(¹ 北大動物病院 ² 北大獣医外科)

「肝静脈造影超音波検査による肝疾患罹患犬の肝内血行動態の評価」

○森下啓太郎¹ 平本 彰² リン・スー・イー² 大菅辰幸² 中村健介¹
大田 寛² 滝口満喜² (¹ 北大動物病院 ² 北大獣医内科)

「犬移行上皮癌における診断補助としての免疫組織学染色の有用性」

○藤崎雄介¹ 熊澤りえ¹ 華園 究² 河村芳朗³ 玉本隆司² 福本真也² 廉澤 剛²
打出 毅² (¹ 酪農大動物病院 ² 酪農大伴侶動物医療 ³ 酪農大感染・病理)

【北海道獣医師会長賞】

「肺高血圧症の犬に対する Dual pulsed-wave Doppler 法を用いた右室 Tei-index 測定の有用性」

○森田智也¹ 中村健介² 大菅辰幸¹ 森下啓太郎² 大田 寛¹ 滝口満喜¹
(¹ 北大獣医内科 ² 北大動物病院)

「活性型ビタミン D₃ 外用薬の慢性摂取により高カルシウム血症が認められた犬の2例」

○下出亜里咲¹ 中村健介¹ 森下啓太郎¹ 大田 寛² 滝口満喜²
(¹ 北大動物病院 ² 北大獣医内科)

【奨励賞】

該当なし

日本獣医公衆衛生学会（北海道）

【北海道地区学会会長賞】

「Multiplex real-time PCR を用いた敗血症等診断における迅速検査法の検討」

○松本斉子¹ 通山佳之¹ 池田徹也² (¹ 帯広食肉衛検 ² 道衛研)

「飼育展示下クジャクハトに発生したハトトリコモナス症への対応」

○富川創平¹ 入交利都¹ 杉本美紀¹ 岩澤裕介² 堀内雅之² 古林与志安² 柚原和敏¹
(¹ おびひろ動物園 ² 帯畜大基礎獣医)

【北海道獣医師会長賞】

「北海道の敗血症豚由来 Streptococcus suis に関する分子疫学調査」

○大野祐太¹ 大久保寅彦² 池田徹也³ 清水俊一³ 横山光恵¹ 古崎洋司¹
(¹ 早来食肉衛検 ² 酪農大感染・病理 ³ 道衛研)

【奨励賞】

「十勝地域のアライグマにおける A 群ロタウイルス感染」

○山口英美¹ 藤井 啓² 小林恒平³ 今井邦俊⁴ 門平睦代¹
(¹ 岩手大学院連合農学 ² OAT アグリテクノ ³ 千葉科学大
⁴ 帯畜大新興・再興感染症)

2) 第 65 回北海道獣医師大会の開催

①第 65 回北海道獣医師大会は 9 月 11 日（木）京王プラザホテル札幌を会場に、高橋はるみ北海道知事、藏内勇夫日獣会長ほか多数の来賓を迎え盛会裡に開催された。

②大会では本部提案として「獣医学教育の改善・充実について」および行政部会提案

として「公務員獣医師の処遇改善について」の2提案を満場一致で決議した。

③公務員獣医師の処遇改善については、道議会自民党獣医政策振興議連の道議会議員のご協力を得て、今年度より医療職2表に8級が新設され、処遇改善に一定の進展が得られた。

④大会に引き続き、前年度三学会優秀発表表彰、北獣誌投稿優秀論文表彰、狂犬病予防事業顕彰および学位（博士号）取得者顕彰を行った。狂犬病予防事業顕彰者および学位取得顕彰者は以下のとおり。

狂犬病予防事業顕彰者

佐藤 博則（オホーツク支部）、吉田 治男（オホーツク支部）、橋場 徹（留萌支部）

学位（博士）取得顕彰者

久保田 学（釧路地区 NOSAI）

論文タイトル：地域に根ざした総合的乳牛管理技術の確立

榎谷 雅文（北海道デーリィマネージメントサービス）

論文タイトル：酪農家における ATP 迅速検査法の応用による搾乳衛生管理の向上に関する研究

福田 茂夫（道総研畜産試験場）

論文タイトル：牛海綿状脳症実験感染牛における神経病理発生と異常型プリオンタンパク質の神経解剖学的分布に関する研究

生野 聡子（旭川市食肉衛生検査所）

論文タイトル：ジエチルスチルベストロール投与ラットにおける副腎ステロイド合成抑制機序の解明

3) 第30回世界牛病学会 2018 の招致について

第30回世界牛病学会 2018 を北海道に招致すべく、日本産業動物獣医学会、日本獣医師会等とともに招致委員会に参加し、招致を目指し活動した。

平成26年7月に、オーストラリアのケアンズで開催された第28回世界牛病学会時の理事会において、第30回世界牛病学会 2018 の開催地として4つの立候補都市のなかから札幌市が選ばれた。今後、世界牛病学会アジア地区代表理事、日本産業動物獣医学会を中心に組織委員会が立ち上げられるが、本会としてもこれに参画し、学会の成功に向け協力していく。

世界牛病学会は、牛の獣医学に関する国際学会として1960年に設立され、現在世界の50カ国が加盟している。学会は、2年に一度、世界各地で開催され、毎回、60-70カ国から2000-3000名の獣医師が参加しており、世界および開催国の牛獣医療の進歩に貢献している。

開催会場：札幌コンベンションセンター

開催日時：2018年8月26日（日）～30日（火）

参加者数（想定）：1,600名

主催：日本産業動物獣医学会

事業主体：第30回世界牛病学会組織委員会

2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及および諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌を毎月定期に発刊した（第 58 巻第 4 号～12 号および第 59 巻第 1 号～第 3 号）。また、会誌編集委員会において、前年度本会誌に掲載した学術論文から優秀なものとして次の 3 編を選定し、第 65 回獣医師大会において顕彰した。

平成 25 年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

産業動物獣医学部門

「若馬における咽喉頭部内視鏡検査所見について」

佐藤 文夫（JRA 日高育成牧場）

「継続的モニタリング検査による牛マイコプラズマ乳房炎の防除」

中川 亮¹⁾ 草場信之²⁾ 日浅 淳¹⁾ 深町 綾¹⁾ 飯塚優介¹⁾ 西森一浩³⁾

佐川隼人¹⁾ 高橋太二¹⁾ 山崎智之⁴⁾ 菅野篤夫¹⁾ 小川宗平¹⁾ 今 亨¹⁾

佐々木信明⁴⁾（¹⁾ NOSAI オホーツク紋別診療所 ²⁾ 北海道 NOSAI

³⁾ NOSAI オホーツク女満別診療所 ⁴⁾ NOSAI オホーツク湧別診療所

小動物獣医学部門

「ミニチュアシュナウザーにみられた *Leptospira autumnalis* 感染の 1 症例」

中島 永昭（アニマルケアセンター）

3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。

昭和 54 年当時の山下会長、酒井副会長が訪韓以降、これまで数年間隔でそれぞれ 6 回訪問しあって交流してきた。25 年に本会が韓国慶尚北道を訪問しており、今度は本会が招聘する順番になっているが、韓国において口蹄疫等の伝染病の発生が継続していることから 26 年度の招聘は見送った。

4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催として小動物講習会、獣医公衆衛生講習会、管理獣医師講習会および野生鳥獣救護技術講習会を開催するとともに、支部主催により産業動物・小動物ブロック講習会、新技術講習会を実施した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する研修会、講習会等に後援・協賛し、支援した。

開催状況は添付諸表資料 4 のとおり。

公益目的事業 2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

1. 狂犬病予防注射事業の推進について

1) 狂犬病予防注射事業を本会の公益目的事業としたことで、本会が事業主体であることを明確にする必要があり、昨年度より飼養者から徴収する注射料金はすべてを一度、

本会収入としたうえで、実施した会員へは技術料（一部資材費等を含む）を支払うこととし、また、ワクチンは本会が供給することとするなど、その事業運営、経理方法を大きく変更した。

- 2) 各支部実施班の協力で実施したが、狂犬病予防注射頭数は 190,510 頭（前年比 2,200 頭減）で、ここ数年減少傾向が続いている。支部別注射頭数は添付諸表資料 2 のとおり。

狂犬病侵入防止および狂犬病予防注射推進について北海道および市町村担当部局と協力し啓発活動の推進が必要である。

- 3) 平成 26 年度から消費税の見直しにあわせ、狂犬病予防注射料金を消費税のアップ分値上げし（10 円未満端数切り捨て）、2,560 円とした。またこれにあわせ、委任獣医師の技術料も同様値上げ（1,980 円→2,036 円）した。
- 4) 当初、本会事業外としてきた犬以外の動物、海外渡航に同伴する複数回の注射についても、本会事業の対象とした。また、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされたワクチンの経費についても、今年度から委任獣医師の負担とし、1 ドース 420 円を徴収することとした。
- 5) 狂犬病予防注射業務に永年にわたり尽力された 3 名の会員に対し、北海道獣医師会長表彰を行い、その功績を称えた。
- 6) 狂犬病予防事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、北獣狂犬病予防注射事故対策要領に沿い補償することとしている。平成 26 年度には犬の事故は死亡 1 頭、回復 21 件の報告があった。犬の事故は多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起するなど、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応された。

2. 動物愛護の推進について

- 1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院などの協力を得て 82 病院、386 頭羽（前年比 35 頭羽減）の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。

また、野生動物部会の先生方の協力を得て、これら野性傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌（円山動物園）と釧路（釧路湿原野生生物保護センター）において開催した。

- 2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫などの診療、保護委託業務では 52 病院、327 頭（前年比 13 頭増）の保護・診療費用の一部を補填した。

札幌市（札幌小獣が受託）、旭川市、函館市においても、それぞれ市からの受託により同事業を実施し、それぞれ 14 病院 38 頭、3 病院 12 頭、1 病院 1 頭の保護治療を行った。

- 3) 札幌市内デパートにて開催された小学生を対象にした仕事体験イベントの「夏休み！こども体験アカデミー」に出展し、子供たちの動物愛護や獣医師の仕事に対する理解を深めた。また、円山動物園と共催で、同園において「天売島におけるネコの海鳥への影響とその対策について」をテーマとした一般市民向けの公開講演会を開催した。

収益事業1：不動産賃貸事業

1. 所有地の貸し付け

本会が発寒に所有する土地（670m²）を月極駐車場用地として（株）コラボに貸付けした。

2. 所有建物の貸し付け

北獣会館の事務室スペースは家畜畜産衛生指導協会、さっぽろ獣医師会、札幌小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に貸付けするとともに、会議室は各種会議、研修会等に貸付けを行った。

本会館は築後 35 年を経過し、老朽化が進んでいることから、理事会に「北獣会館建設計画検討特別委員会」を設置し、今後の本部事務所のあり方、会館建設の計画と資金調達等について協議を進めている。

収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、領付した。

その他事業1：福利厚生事業

「福利厚生規程」にもとづき、病氣見舞金、弔慰金および生花をそれぞれ添付諸表資料5のとおり贈呈した。

その他事業2：受託事業

1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内 173 市町村市から委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。

2. 犬の登録及び鑑札交付事業

道内 6 市から委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射時に市町村に代わり犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

3. 国際交流事業

北海道・大学・NOSAI などの関係機関の協力を得て 18 年間に渡り、実施してきた開発途上国獣医師を対象とした「産業動物の獣医技術研修」（（独）国際協力機構（JICA）の委託）が 25 年度を持って終了したことから、再度、研修事業の受託を目指し、新たな研修の立ち上げについて国際交流部会で検討を進めた。

4. 動物愛護週間における啓発活動

札幌小動物獣医師会主催による「動物愛護フェスティバル2014 in SAPPORO」、江別市小動物開業獣医師会が主催する「2014動物愛護フェスティバルinえべつ」、北獣胆振支部が主催する「胆振動物愛護フェスティバル」等の行事に協賛し、動物愛護思

想の普及啓発に努めた。

5. 海鳥等保護対策事業

天売島において野良ネコが増加し、この影響で稀少な海鳥が激減している。この海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等で野良ネコを減少させる事業を実施した。平成26年度は、海鳥繁殖地周辺における野良ネコ30匹を捕獲し、会員協力動物病院にて不妊去勢・健康検査を実施し、馴化の後、一般市民への譲渡を進めた。また、馴化、譲渡を一気に進められないことから、新たな繁殖、増頭を抑えるため市街地周辺の野良ネコ75匹に対し、不妊去勢手術、マイクロチップ装着を実施した。これには会員の動物病院に加え、酪農学園大学の協力を得て実施した。